

♪ Aさんの入れるお茶は最高 ♪
♪ タイミングもバッチリなんです♪



小山農業協同組合 共済業務課

(協同組合／小山市)

【雇用障害者数】10名

事務を担当するAさん(知的障害)について、企画管理部の関人事課長にお伺いしました。



【採用・雇用のきっかけ】

障害者雇用については、特別支援学校の実習からの採用が大勢を占めますが、Aさんのケースはハローワークに求人(職種:事務職)を公開しました。Aさんは当時、障害者就業・生活支援センターの支援を受けており、センターから性格は几帳面、事務職も対応可能とのアドバイスがありました。面接の段階でも事務職は可能と判断しましたが、仮に事務が困難であったとしても他の業務への異動など考慮していました。

【雇用に際しての取組】

● アプローチ1 社内への理解、周知の方法について

月1回定期的に企画会議を行っていますが、年度初めの会議では、障害者についての研修を行っています。この研修は支店長クラスが参加し、講師として障害者就業・生活支援センター支援員などを招いて行うこともあります。

● アプローチ2 採用～入社後の様子

採用のポイントは、真面目そうに思えたことです。自宅が遠く、通勤時間が長い(1時間強)ことは心配要因の一つでしたが、在学中、学校をほとんど休まなかった実績があったことも採用の決め手となりました。

入社当初から、真摯に仕事に取り組んでいました。また、心配していた通勤についても入社してから一度も欠勤はなく、悪天候などによる事情以外、遅刻なども一切ありませんでした。



● アプローチ3 支援機関との繋がり、関わりについて

障害者就業・生活支援センターとの繋がりでは、Aさんに関しては特に問題がないため頻繁な訪問はありません。他の障害者については、本人たちが勤務している現場などに、月1回程度の定期訪問を依頼しています。その中で、職員が本人に直接言いづらいことなどはセンターが間に入り、支援員から伝えてもらっています。

身体障害者はセンターに登録していない場合もありますが、精神・知的障害者の場合は、可能な限り登録をしてもらうようにしています。

その他、特別支援学校も卒業生の訪問、面談を行っています。

【職場定着のための配慮・工夫など】

社内の障害のある方の業務の一つとして清掃作業がありますが、この業務は15支店21箇所で行っています。各支店の会議室などの清掃を行い、1～2日で1箇所の清掃を行い、大体2ヶ月で全ての清掃現場を回っています。この清掃業務を、高齢者と障害者の職員がこなしています。高齢者の職員1名がリーダーで、3名の障害者（重度・知的）とグループを構成し業務を行っています。高齢者がお母さん役となり、グループを機能させています。

また、何らかのアクシデントや異変が生じた場合、早めに家庭や支援機関に連絡を取れる体制をしいています。



【現状と今後の課題】

障害者が、今就業している職種以外でも増やせないかと検討しています。

例えば、現在清掃業務に携わっている職員は、園芸関係の就業ならば可能と判断できますが、その作業は期間が限定的なものなので、年間を通しての業務はないかと思案しています。Aさんについては、今の仕事は充分遂行できていますので、この先は更に高度な仕事と業務数が増加出来るよう期待しています。

また、清掃業務グループには、各支店職員との挨拶のための基本的なコミュニケーション教育をしています。また、各支店長には事前に、障害者が各支店を巡回するときは職員側からも本人たちに声掛けなどを行い、コミュニケーションを図ってもらうようお願いしています。

今年度の新入研修では障害者の特性など説明し、障害者と共に清掃業務を行いました。お互い年齢が近く、大学で障害者関係の学科を卒業した新入職員もいて、コミュニケーションが良くとれているように見受けられました。

また、職員は毎年2名ほど障害者職業生活相談員の資格を取得し、現在では有資格者が10名ほどになっています。

【Aさん（20代女性）へのインタビュー】

Q. 現在はどんな仕事をしていますか？

A. 各支店（15支店）に送る資料の仕分け（共済関連の資料）と電話対応、そして来客者の方へのお茶出しです。

Q. 現在の仕事はどうですか？

A. 今の仕事は楽しいと感じています。また、来客者の方へのお茶出しは、仕事の合間の気晴らしになり好きです。

空いた時間には、共済の仕組みなどを説明している解説書を読ん

でいます。勉強になり、特に仕分けする資料がどういったものか分かってきます。

Q. 今の職場はどうですか？

A. 分からないことを聞くと優しく丁寧に教えてくれ、周りの人は優しいと思っています。ただ、職場まで遠く、通勤が大変とも思っています。

Q. 将来の目標はありますか？

A. 入社するときから、いずれはフルタイムで働きたいと思っていました。今年3月からフルタイム準社員での雇用形態になり、この目標は達成できました。

仕事内容での目標を挙げれば、今は頼まれて会議の資料をホッチキスで止めるなどしていますが、いずれは会議の資料作りの、補助的な作業が出来るようになりたいです。



【取材を終えて～取材担当者コラム】

Aさんはもの静かな印象でしたが、お茶出しについては、出すタイミング、味ともに評判が良く高い評価を受けているようでした。これから更に社会人として成長し、目標や夢に向かって頑張ってもらいたいと思います。

小山農業協同組合では支援機関を上手に利用し、特に障害者就業・生活支援センターとは信頼関係が構築できているケースと思われます。また、高齢者と障害者がグループになり業務を行い、それが上手く機能しているように思われました。

